

令和3年11月26日

小学校保護者 様

中学校保護者 様

裾野市校長会

裾野市立中学校標準服検討委員会の報告

向寒の候、日頃から皆様には、学校教育に御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、裾野市立の5校の中学校では、令和5年度4月を目途に制服変更に向けて、委員会を立ち上げ、その検討を行っています。前回の報告は、中学校の保護者様に行いました。

今回からは、小学校の保護者に向けても情報を発信させていただきます。現在、裾野市立中学校標準服検討委員会は第2回まで行っております。これまでの検討会の報告を下記のとおりさせていただきます。今後も本検討委員会の状況をお伝えしてまいります。お気づきの点があれば各学校を通して御意見等をいただきます。よろしくお願いいたします。

記

1 裾野市立中学校標準服検討委員会

方針：標準服の現状と課題をふまえ、これからを見据えた制服のあり方を検討していく。制服に対する経済的負担の軽減、多様性への配慮、機能性の向上等について、協議・検討を進めていく中で、5つの中学校統一仕様の部分と各校の差別化する部分を考え、各校と調整を図ることで令和の時代に裾野市の中学生にふさわしい中学校標準服を定めていくものとする。

委員：中学校長 2、小学校長 1、中学校教頭 1、保護者代表 2、担当業者、(学校教育課 オブザーバー)

※モデル案作成業者については、分納方式を前提に複数社から聞き取りを行い、1社に選定しました。

2 経過

(1) 第1回検討委員会 令和3年9月7日(火)

① 内 容 1学期末に実施した中学校保護者アンケート結果を活用。

ア 標準服見直しの背景

- ・社会的な変化、機能面、近年の激しい気候の変動等に対応するため。
- ・各中学校の仕様が異なるため公立中学校間で価格差があること。
- ・寒暖への対応が容易ではない。
- ・防犯に対する配慮が十分ではない。
- ・社会的に女性がスラックスを使用しているのに、現状ではその選択肢がない。
- ・性差のある制服に対する負担がある生徒への配慮など、多様性を認めていく時代に対応するデザインへの変更が必要であること。

イ 進め方と工程表

- ・5校共通の基本型を本委員会で決める。
- ・本委員会は、基本月1回開催する。
- ・基本モデルは市内共通としながら、各校で識別できるものにする。
- ・2023年(令和5年)4月の新入学生に間に合うよう、工程表を進める。

◇2021年9月 新標準服の方向性、メーカーへサンプル依頼(計画)

◇ 9～12月 試作サンプル作成、付属品検討

◇～2022年2月 (検討)

◇2022年4月 デザイン最終決定

◇ 5～6月 仕様書の作成と開示(決定)

◇ 7～8月 告知(広報)

- ・アンケート結果、本委員会の経過を各学校、保護者に還元させて、説明を丁寧に行う。

・2023年(令和5年)4月を目途とするが、現在の制服がリユースできる期間(令和5,6,7)をつくる。新規購入の場合は新制服になる。令和8年度は全ての新入生が新制服となる。このことも広報する。ただし、詳細については今後検討していく。

- ・アンケート結果を踏まえたものを新しい標準服の方向性とする。

(2) 第2回検討委員会 令和3年10月7日(木)

① 内 容

ア 第1回検討委員会を受けての論点整理(工程表確認、制服の教育的役割、広報と関係者か

らの聞き取り)

- ・小学校へのアナウンスも早めに入れていく。
- ・制服に求める教育的な役割について、保護者からも様々な声があり、本委員会からも発信していく。(公式な場面での装い、帰属意識の醸成、公教育における家庭支援 等)
- ・感染症対策により、更衣室での密を避けるため、ジャージ・体育着で過ごす機会が多かった学校もあるが、今後は制服着用の機会を確保する必要がある。
- ・中学生には、制服の良さ(自校の誇りなど)を後輩に伝えられるように聞き、そのことを通して、生徒の心の成長を促していく。まずは3年生の意見を聞く。
- ・その後、小学生5年生にも検討中のサンプル等を見せることを通してイメージを持たせていく機会を設定する。

イ 制服の基本ベース検討

(ア) 上衣(ジャケット)の型 … シングル2ツ釦

形のバランスも良く、着用の乱れもおきにくく、着用ストレスも少ないと思われる。

(イ) 上衣(ジャケット)の色 … 紺系

バリエーションが抱負で価格対応やデザインのバランスの取りやすさ、コーディネートもし易さなど諸々含め紺系が優位。

(ウ) 上衣(ジャケット)の打合せ … 紳士型と婦人型と分ける

体格が男女では違うため、打合せは別々でも充分統一感のある印象になるように思われる。

(エ) ボトムのスラックスの型 … 1タック

全国的にはノータック 13%、1タック 86% ノータックはすっきりとした印象になり、1タックは動きやすく幅広い体型に対応し易く、ノータックほどではないですがすっきりした印象になる。パターンは男女の体形で分ける。

(オ) ボトムのスカートの型 … プリーツスカートでヒダスカート型

ヒダスカートは、ウエストのサイズ調整がし易く、サイズ補正もし易く、様々な体型にも対応がしやすい。

(カ) ボトムについて上衣との素材 … 上衣の色に合わせた別素材

アンケート結果から上下別素材のスタイルにすべき。

(キ) ボトムの柄や色 … グレー系、柄は上衣の方向性に合わせて検討

どの色の系統のジャケットにしてもグレー系の相性が良い柄の選定については balan

スによる所が大きいので、上衣の方向性に合わせて、業者提案で検討する。

(ク) 夏服のシャツと色 … ポロシャツ、紺

ポロシャツの要望が多かった。色について、紺は透けの問題もほぼなく、着用の印象も引き締まって良い。アンケートのコメントでも紺を要望する声があった。

(ケ) 夏服のボトム素材 … 冬服と同柄の夏素材

体型の変化があってボトムの丈直しやウエスト直しをすることがあるが、素材感が冬と夏で違っていても同じ柄であれば、冬・夏どちらかの直しを業者に預けている間に学校にはどちらかのボトムをはいて行けるなど、汎用性が高い。

(ク) ネクタイ・リボンなどの着用 … 保留（ネクタイ、リボン、なし、校章で識別）

ブレザースタイルではネクタイ・リボンがあった方の印象が良い。各校からは、ネクタイ、リボンの着用なしの回答もあり、次回検討する。可能であれば、子どもに聞く機会も作りたい。

(ケ) 上衣（ジャケット）にエンブレム … 付けない

エンブレムのデザインにもよるが、付けるとそれだけで印象が良くなる場合もあるし、時代の変遷によっては飽きがくる場合もある。付けると素材やデザインにより価格差はあるが、付けることにより少し価格は上がる。エンブレムはミシン付けをするので、取り外しや付け替えが簡単ではない。

ウ その他、標準服に関する課題研究

- ・今後の予定について、今日の委員会の結果を基に、今後の工程の確認をする。
- ・サンプルの試作品を作る前に、今日の結果を踏まえたイメージがつかめるもので検討する。
それを保護者や子どもに伝えて意見を聞く。
- ・その後、サンプルの検討、サンプルの見直しを進めていく。

※ 小学校保護者には、保護者アンケートの結果も提示します。

※ 第3回の検討委員会が11月11日に行われ、サンプルのベースとなるモデルが提示されました。報告は追って行います。11月下旬から12月上旬にかけて、市内の中学校に巡回展示し3年生にアンケートをお願いしています。